

1 - (1) 令和 4 年度事業の実施状況について

(近代美術館)

① 令和 4 年度の主な取組の進捗状況

A 優れた作品の収集と保管

- 美術品取得基金の活用取組 → 2点購入
- 野外彫刻及び絵画作品の修復 → 彫刻2点（1点は野外彫刻）、日本画3点、版画1点
- 作品の額のガラスを、低反射タイプに順次更新 → 年度末に実施予定。

B 多彩で特色ある展示活動の充実

※ 展覧会の内容については別途説明

- 英語の解説パネルの設置
→特別展・常設展ともに挨拶パネルは基本的に和英で掲示。
「『北の美のこころ』を携えて」「現代ガラスの美」で英文作家解説シートを配布。
- 移動美術館の開催（標茶町） → 標茶町博物館で9/23 - 10/2 に実施。

C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

○ リモート・ミュージアム（動画コンテンツ）の作成・配信

→今年度はこれまでに5本制作。「特別展 羽生輝展」、「近美コレクション 中原悌二郎展」、「近美コレクション『北の美のこころ』を携えて」2本、「特別展 砂澤ビッキ展」の5本。特別展 羽生輝展で制作した「日本画家 羽生輝展 悠久の岬を望む」は、道庁ムービーアワード2022で優秀賞受賞。

○ ミュージアム・トークのほかワークショップの実施

→ミュージアム・トーク9回実施、2月～6回実施予定。

夏休みこどもワークショップ（募集制・小学生対象・紙粘土・8/6-7）

砂澤ビッキ展ラーニングプログラム（募集制・小学生～大人対象・陶芸・12/24-25）

砂澤ビッキ展ラーニングプログラム（自由参加・こども～大人対象・ステンシル・12/24-1/17）

○ 全収蔵作品のデータベースのさらなる利活用

→ホームページで全作品を公開（昨年度末）、データ更新。

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

○ コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究とその成果の地域社会への還元

→当館で主催開催した羽生輝展、砂澤ビッキ展で作品集を編集、執筆。全国巡回「片岡球子展」への企画協力、作品集寄稿。

所蔵作品の研究の成果を「この1点をみてほしい。」展示に反映するとともに、紀要、新聞、雑誌、書籍などに執筆、寄稿。講演、講座、トークイベントを実施。

○ 一般利用者・研究者等が行う調査・研究への支援・協力

→外部からのレファレンスサービス、特別観覧に応じている。

E 地域文化の振興

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結び、学芸員による児童生徒向けオンライン鑑賞教育の研究・実施（新規） → 長沼小学校ほか、7校で実施。
- 学校に対して、自主研修など美術館の活用や鑑賞学習支援ツールの活用の周知強化
→ 今年度は、アートカードBOXを小中高大に貸出（6件）、《道産子追憶之巻》複製シートを大学に貸出（1件）。
活用方法をまとめたパンフレットを作成中（年度内完成予定）。HPにアップするなど効果的な周知方法を検討中。
- 「アートギャラリー北海道」参加館のコレクション紹介や広報の相互協力
→ 没後100年中原悌二郎展を実施したほか、当館のコレクションを貸し出しして、
北網圏北見文化センターで「描かれた“北”～北海道立近代美術館のコレクションから～」を実施。

F 良好な滞在空間の提供

- 適切なコロナウイルス感染症対策の実施 → 検温、手指消毒、マスク着用
- カフェと協働した取組を検討 → 近美、三岸、知事公館3館ツアー時のカフェ料金割引
- 老朽化著しい施設設備の適切な点検・保守 → 特別展示室等空調機改修工事、空調設備監視システム更新（ほか）

② 令和4年度展覧会事業

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

近美コレクション 展示室A

【道単】
4月16日(土)
～6月26日(日)【62日間】

【1階・2階】

日本画家 羽生輝展
悠久の岬を望む

【この1点を見てほしい。】
吉川靈華〈太上老君〉1917年

(コレクション展Ⅰ期)
7月10日(日)
～8月21日(日)
【38日間】

【1階】
時間をめぐって
新収藏品展

【2階】
アートギャラリー北海道
没後100年
中原悌二郎展

【この1点を見てほしい。】
(休止)

(コレクション展Ⅱ期)
9月3日(土)
～11月7日(月)【57日間】

【1階】
『北の美のこころ』を携えて

【2階】
国際ガラス年2022関連企画
現代ガラスの美

【この1点を見てほしい。】(休止)

【道単自主企画】
11月22日(火)
～1月22日(日)【49日間】

【1階・2階】

砂澤ビッキ展

(コレクション展Ⅲ期)
2月11日(土・祝)
～4月9日(日)【50日間】

【1階】
シャガール・イン
・プリント

(1階吹抜)
【この1点を見てほしい。】
伊藤隆介
〈こんなことは無かった
2012年〉

【2階】
戦時下の北海道美術
-画家たちは戦地で何を見たのか-

特別展 展示室B

【貸館】
かな書道
わかば会

3月26日
(土)～
4月3日
(日)

9日間

【貸館】UHB

UHB北海道文化放送開局50周年・
北海道新聞創刊80周年記念事業

ドレスデン国立古典絵画館所蔵
フェルメールと
17世紀オランダ絵画展

4月22日(金)
～6月26日(日)
【57日間】

【実行委員会】道新

ライデン国立古代
博物館所蔵
古代エジプト展

7月10日(日)
～8月21日(日)
【38日間】

【実行委員会】TVh

聖徳太子1400年
御遠忌記念
国宝・法隆寺展

9月3日(土)
～10月30日(日)
【50日間】

空調設備工事
のため休室

【貸館】STV

サンリオ展
ニッポンのカワイイ文化
60年史

2月11日(土・祝)
～4月2日(日)
【44日間】

③ 展覧会の実施状況

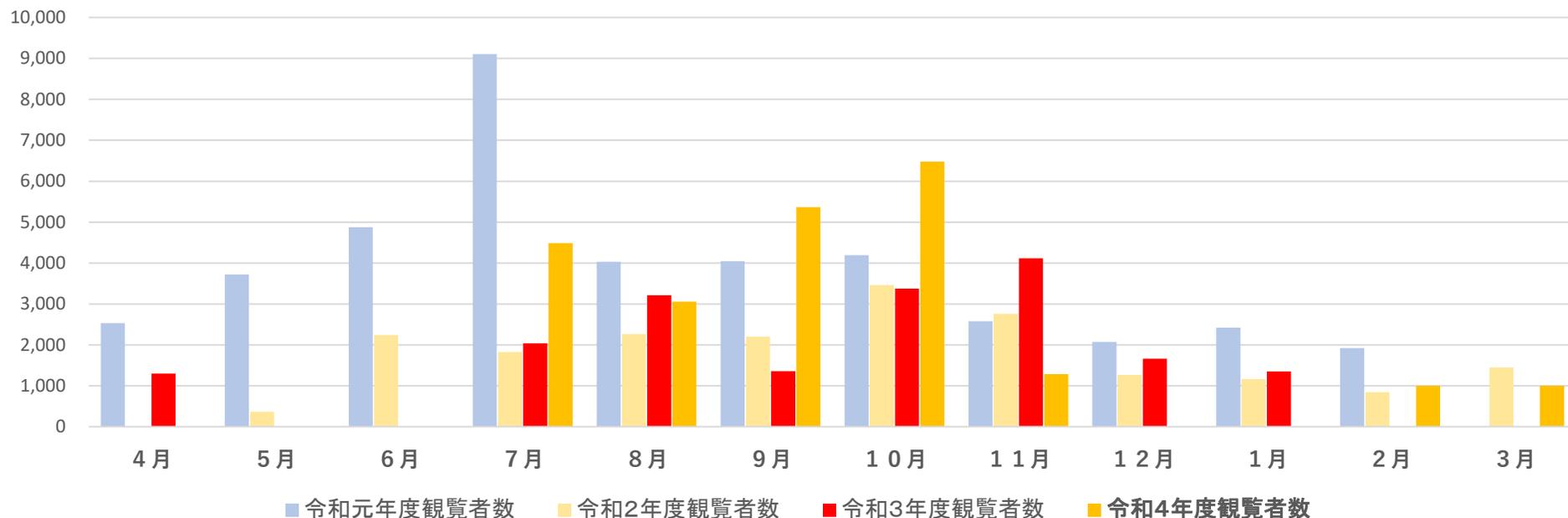
近美コレクション（常設展）

	展覧会名	開催期間	日数	実施状況		
				観覧者数	一日当たり観覧者数	
第Ⅰ期	時間をめぐって／アートギャラリー北海道 没後100年 中原悌二郎展 ／新収蔵品展	令和4年 7月10日（日）～ 8月21日（日）	38	7,542	198	
第Ⅱ期	『北の美のこころ』を携えて／現代ガラスの美	令和4年 9月 3日（土）～ 11月 7日（月）	57	13,130	230	
第Ⅲ期	シャガール・イン・プリント／戦時下の北海道美術／この1点を見てほしい。	令和5年 2月11日（土）～4月 9日（日）	42			
計			(令和5年1月31日現在)	137	20,672	217

特別展

	展覧会名	開催期間	日数	実施状況		
				観覧者数	一日当たり観覧者数	
	山口南艸の書とわか葉会門流展（貸館）	令和4年 3月26日（土）～ 4月3日（日）	3	910	303	
	羽生輝展（道単）	令和4年 4月16日（土）～ 6月26日（日）	62	8,761	141	
	フェルメールと17世紀オランダ絵画展（貸館）	令和4年 4月22日（金）～ 6月26日（日）	57	103,291	1,812	
	古代エジプト展（実行委員会）	令和4年 7月10日（日）～ 8月21日（日）	38	108,196	2,847	
	国宝 法隆寺展（実行委員会）	令和4年 9月 3日（土）～10月30日（日）	50	90,127	1,802	
	砂澤ビッキ展（道単）	令和4年11月22日（火）～令和5年1月22日（日）	49	9,855	201	
	サンリオ展 ニッポンのカワイイ文化60年史（貸館）	令和5年 2月11日（土）～4月 2日（日）	42			
計			(令和5年1月31日現在)	301	321,140	1,239

④近美コレクション（常設展）の観覧者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	収入額
令和元年度観覧者数	2,531	3,718	4,874	9,101	4,031	4,043	4,195	2,578	2,073	2,425	1,925	—	41,494	7,463,930
令和2年度観覧者数	—	364	2,241	1,825	2,268	2,200	3,459	2,758	1,265	1,164	849	1,450	19,843	4,066,656
令和3年度観覧者数	1,298	—	—	2,038	3,212	1,357	3,374	4,115	1,666	1,355	—	—	18,415	5,567,340
令和4年度観覧者数	—	—	—	4,485	3,057	5,368	6,475	1,287	—	—	—	—	20,672	3,004,080

※令和4年11月の近美コレクションは7日間のみ開催。

※令和5年1月31日現在

1 - (2) 令和5年度事業実施計画（予定）

（近代美術館）

① 令和5年度の主な取組

A 優れた作品の収集と保管

- 美術品取得基金の活用の取組
- 野外彫刻及び絵画作品の修復
- 作品の額のガラスを、低反射タイプに順次更新

B 多彩で特色ある展示活動の充実

- ※ 展覧会の内容については別途説明
- 英語の解説シートの配布

C 学習の場と情報提供の充実

- リモート・ミュージアム（動画コンテンツ）の作成・配信
- ミュージアム・トーク、ワークショップ等の実施

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

- コレクション及び今後の展覧会等に関連した調査・研究とその成果の地域社会への還元
- 一般利用者・研究者等が行う調査・研究への支援・協力

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

- 北海道美術館協力会、美術館ボランティアと連携した教育普及事業の実施
- 小中高等学校等と美術館をオンラインで結び、学芸員による鑑賞授業を実施
- 学校に向けて、自主研修など美術館の活用や鑑賞学習支援ツールの活用の周知強化
- 「アートギャラリー北海道」参加館のコレクション紹介や広報の相互協力

F 安全で良好な滞在環境の提供

- 来館者アンケートに対する回答掲示や迅速な対応
- カフェやミュージアムショップ事業者との協働を検討
- キャッシュレスサービスの利用拡大検討

② 令和5年度 展覧会事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
近美コレクション ／ 展示室 A	8日 ～ 4月9日 R4コレクション展Ⅲ期	(コレクション展Ⅰ期) 4月22日(土)～6月11日(日) 【1階】 美しいものとの時間 友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩 【2階】 昭和のガラス工芸 新収蔵品展				【道単特別展】 9月16日(土)～11月12日(日) 【1階】 揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ 【2階】 アール・ヌーヴォー 自然を映しだすガラス アートギャラリー北海道 小川原脩記念美術館コレクション展				【共同企画】 (公財)アイヌ民族文化財団 1月13日(土)～3月10日(日) 【1階・2階】 AINU ART—モレウのうた		8日 (コレクション展Ⅱ期 →R6コレクション展Ⅰ期) 3月23日(土) ～6月22日(日) 【1階】 北海道の美術 【2階】 現代ガラスのオノマトペ 【この1点を見てほしい。】 山口達春《向日葵》
	設備メンテナンス休館	設備メンテナンス休館				設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館
特別展 ／ 展示室 B	～ 4月2日 ザンパ展	【貸館】道新 トリック × イリュージョン! 4月22日(土)～6月11日(日)				【実行委員会】STV 札幌テレビ放送創立65周年記念 足立美術館所蔵 近代日本画と北大路魯山人展 — 和の美、再発見。 9月16日(土)～11月12日(日)				【共同企画】 札幌国際芸術祭実行委員会 札幌市 札幌国際芸術祭 2024 LAST SNOW 1月20日(土)～2月25日(日)		【貸館】 第90回記念 独立展北海道展 3月23日(土) ～3月31日(日)
	設備メンテナンス休館	設備メンテナンス休館				設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館		設備メンテナンス休館

③ 令和5年度 教育普及活動計画

<p>【解説活動】 (通年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ ミュージアム・トーク / 当館学芸員が、一般来館者を対象に館内展示中の作品について詳しく講話する(約30分)。日曜 午後2時～ ■ ワークシート / 当館の代表的な所蔵作品についてワークシート(設問式の解説書)を整備し、主に「近美コレクション」(展示室A)に設置する。 ■ ギャラリー・ツアー / 北海道美術館協会ボランティアが「近美コレクション」(展示室A)で、展示中の作品について解説する(約30分)。 火～土：午前11時30分～(1階)、午後1時～(1階)、午後2時～(2階) 日・祝日は実施なし ■ アート・レファレンス・サービス ARS / ● 質問コーナー：火～土 午前10時30分～午後3時 ● ビデオ・ライブラリー ● 図書コーナー ■ 北海道リモート・ミュージアム / 学芸員による展覧会解説のオンライン配信(YouTube)。随時制作予定。
<p>【主催事業】 (適時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「講演会」「講座」「作品解説」など、展覧会関連事業を随時実施する。 ■ 冬休み期間中の子どもや家族を対象としたワークショップなど、多彩な自主事業を実施する。 ■ 「オンライン・アート教室」など、館外での事業を実施する。
<p>【連携・協力事業】 (適時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北海道美術館協会との連携・協力 / 「美術講座」「美術講座プレミアム」「ジュニア・アートクラブ」などに協力するほか、ボランティアの活動を随時支援・助言する。 ■ 学校教育との連携・協力 / 「指導者研修」「博物館実習(館園実習)」「学芸員インターンシップ」「美術体験充実事業(鑑賞学習支援ツール)」などの連携事業を行なうほか、「自主研修」「職場体験学習」「博物館実習(見学実習)」などの受け入れを随時行なう。 ■ 三岸美術館・知事公館との連携・協力 / 「3館スタンプラリー(案)」など
<p>2023. 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2024. 1 2 3</p>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 4月22日(土)～6月11日(日) 美しいものとの時間 友田コレクションの精華 魅惑の版画と詩 昭和のガラス工芸／新収蔵品展 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 9月16日(土)～11月12日(日) 揺さぶる絵 変貌する日本画のイメージ／アール・ヌーヴォー 自然を映し出すガラス／AGH 小川原脩記念美術館展 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 1月13日(土)～ 3月10日(日) AINU ART- モレウのうた </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 3月23日(土)～ 北海道の美術／ 現代ガラス </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 4月22日(土)～6月11日(日) トリック×イリュージョン！ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 設備修繕工事のため休館 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 9月16日(土)～11月12日(日) 足立美術館所蔵 近代 日本画と北大路魯山人展→和の美、再発見。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 設備修繕工事のため休館 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 1月20日(土)～2月25日(日) 札幌国際芸術祭 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> 3月23日(土)～ 31日(日)90周年 記念独立展 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>11/1-7 芸術週間</p> <p>【解説活動】 ミュージアム・トーク、ワークシート、ギャラリー・ツアーなど</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 60%;"> 8月～12月 オンライン・アート教室 (10校程度) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> 美術講座 5月11日～6月8日 (全5回) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> 美術講座プレミアム 9月～10月(全5回) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> ジュニア・アート クラブ 11月 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 15%;"> アートクラブ 2月 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%;"> 博物館実習 8月(7日間) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%;"> 指導者研修 8月 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 10%;"> 指導者研修 1月上旬 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;"> 北海道リモート・ミュージアム (YouTube で配信) </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;"> 【学校教育との連携・協力】 自主研修・職場体験学習(開館時)、博物館実習(見学実習)、オンライン・アート教室など </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: center; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 80%;"> 【三岸美術館・知事公館との連携・協力】 三館スタンプラリーなど </div> </div> </div>

④ 令和5年度美術館事業費予算一覧

(千円)

事業名	令和4年度 予算額 (a)	令和5年度 予算額 (b)	比較 (b-a)	摘要
展覧会事業費 (アートギャラリー北海道事業費を含む。)	28,675	28,154	▲ 521	・常設展(近美コレクション)及び特別展にかかる経費。 ・特別展の実施回数は6回(うち、実行委員会による展覧会:1回、共催による展覧会:2回、道単 独開催による展覧会:1回、貸館による展覧会:2回)
教育普及・調査研究資料収集費	717	669	▲ 48	・美術講演会、普及活動のほか、資料調査収集等を行う経費。
移動美術館	3,253	0	▲ 3,253	・令和5年度は事業を休止。
親子ふれあい芸術体験事業	205	205	0	・親子で美術館を楽しめるワークショップなどを行う経費。
収蔵作品特別緊急修復事業	6,241	6,158	▲ 83	・作品修復を行う経費。
作品収集費	10,000	10,000	0	・北海道美術品取得基金の積み立てに要する経費。
計	49,091	45,186	▲ 3,905	

北海道立三岸好太郎美術館



資料 2 - 1 令和 4 年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

①令和 4 年度の主な取り組みの進捗状況

A 優れた作品の収集と保管

作品の額のガラスを低反射タイプに順次交換、あるいは新規取り付け。

→ 3点取り付け。（「大通教会」「少女の像」「北大のポプラ並木」）

B 多彩で特色ある展示活動の充実

展覧会の内容については、別途説明。

C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

三岸作品をテーマにした絵本制作のシリーズ化。3冊目の発行。

→ 札幌在住の絵本作家、やまだなおと氏 新作絵本「道化とランプ」作成

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

現存する三岸アトリエの調査を推進し、展覧会に反映。

- 特別展「1920s-1930s三岸好太郎が生きた時代」と同時開催した「アトリエへようこそ」において反映。
特別展の展示解説ガイドを編集・執筆。

E 地域文化の振興

コロナ禍で休止していた音楽会やトークイベントの再開を試行。

- 学芸員による展示解説、ミニトーク、木田金次郎美術館企画ツアーなどの実施

「アートギャラリー北海道事業」として、若手作家の表現活動を紹介。

- 第8回目となる「#みまのめ」展を実施し、北海道ゆかりの若い美術家を紹介

F 良好な滞在空間の提供

適切な新型コロナウイルス感染症対策の実施。

- 検温、手指消毒、マスク着用、休憩スペースに空気清浄機設置

資料 2 - 1 令和 4 年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

①令和 4 年度展覧会事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
展覧会	<p>所蔵品展 第1期 4月5日(火)～4月10日(日) *6日間 三岸が愛した札幌 ※R3年度より継続</p>	<p>所蔵品展 第2期(62日間) 4月23日(土)～7月3日(日) 100の素描</p>		<p>特別展(道単)(62日間) 7月16日(土)～9月25日(日) 1920's-1930's 三岸好太郎が生きた時代 ■同時開催 アトリエへようこそ</p>				<p>所蔵品展 第3期(51日間) 10月8日(土)～12月4日(日) 蝶を追いかけて ■同時開催/AGH事業 #みまのめ(VOL.8)</p>		<p>所蔵品展 第4期(84+10日間) 12月17日(土)～4月18日(火) デコボコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった!</p>			
連携展示	3～6月 ミギシ・サテライト			6～9月 ミギシ・サテライト		9～12月 ミギシ・サテライト			12～3月 ミギシ・サテライト				
普及事業				7月～9月 「昭和モダン」 ・講演会 ・キュレーターズ・トーク			10～12月 AGH事業「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク 動画館内放映 ・キュレーターズ・トーク		12月下旬～1月中旬 「たんけん美術館」 冬休みの子ども向けプログラム 12/18(日) マール記念日		1月～3月 ・キュレーターズ・トーク		
音楽イベント						10～12月 第一回ミニ・リサイタル 第一回ミニ・リサイタル 芸術週間美術館コンサート			2月～3月 第一回ミニ・リサイタル 第二回ミニ・リサイタル 子どもと楽しむコンサート				
	* 所蔵品展展示解説/火～土 午後1～3時（祝日および午後のイベント開催日を除く） 解説：北海道美術館協会ボランティア												
	* 図書コーナー/通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献・美術図書等を閲覧できます。												
	□ 講演会・セミナー/展覧会や作品のより興味深い鑑賞のため、ゲスト講師や学芸員によるトークやレクチャーなどを実施。												
	□ 音楽会/三岸の代表作〈オーケストラ〉にちなんだ、展示室での演奏会。プロ演奏家のコンサートや若手のミニ・リサイタルほか。												
	□ アニヴェアサリー/7月1日は開館記念日（観覧無料）												

資料 2 - 1 令和 4 年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

②令和 4 年度展覧会事業

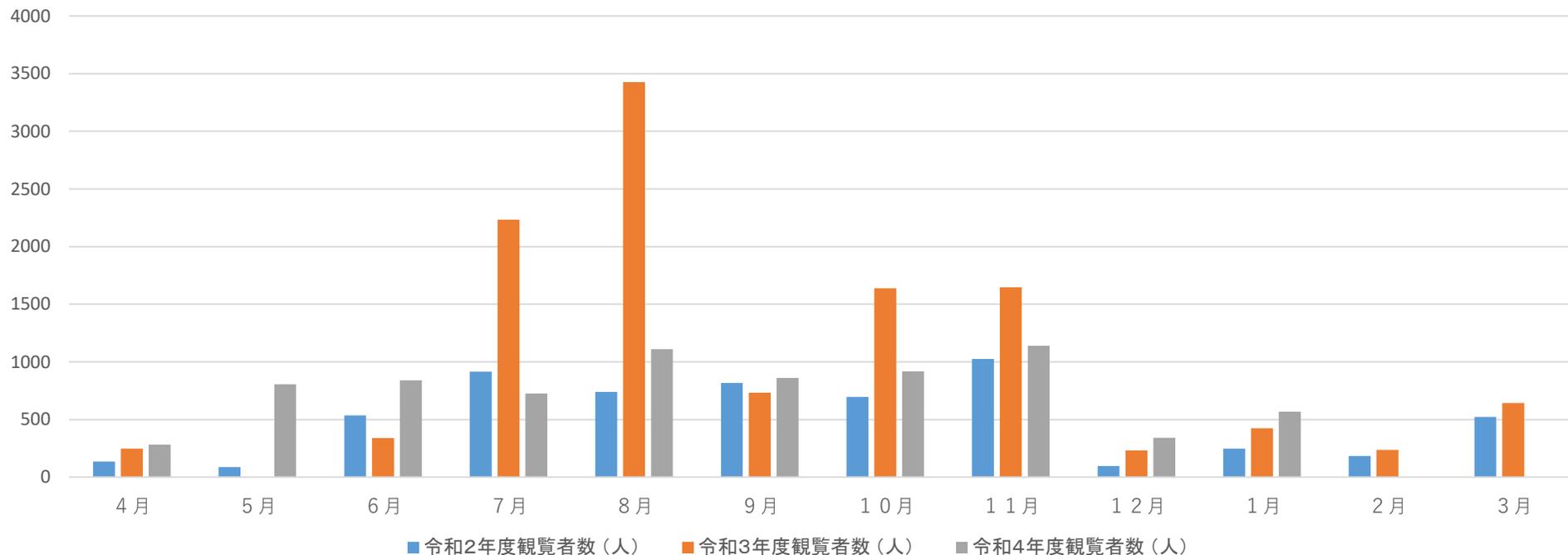
令和 5 年 1 月末日現在

(1) 所蔵品展						
期	展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
第1期	三岸が愛した札幌 ※R3年度より継続	三岸が生まれ育った街・札幌。上京後も幾度となく訪れては画家仲間と交流し、移りゆく札幌の風景を描きました。昭和初期の札幌を映した9.5mmフィルム映像とともに、三岸のみつめた札幌を振り返ります。	4/5[火]～4/10[日]	6日	145人	24人
第2期	100の素描	三岸は油彩製作とは別に、上海の少女や道化、風景などをテーマにして多くの素描をのこしました。本展では、旅先でのスケッチ、人物デッサン、《道化》シリーズや《オーケストラ》の習作のほか、晩年の傑作筆彩素描集『蝶と貝殻』に至るまでを一堂で紹介。三岸が描く線の魅力に迫ります。	4/23[土]～7/3[日]	62日	1,965人	32人
第3期	蝶を追いかけて ■アートギャラリー北海道 mima-no-me #みまのめ(VOL. 8)	蝶をナビゲーターとして、《檸檬持てる少女》や《道化役者》、《飛ぶ蝶》など数々の名作を生み出し続けた画家の一生を追うとともに、様々な美術作品に登場する蝶のモチーフを紹介します。 ■北海道ゆかりの若い作家を紹介するシリーズ企画8回目。新鮮な感覚と多彩な表現に光をあてます。	10/8[土]～12/4[日]	51日	2,202人	43人
第4期	デコボコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が絵本になった!	絵の具を重ねてできたデコボコやザラザラなどの不思議な質感。厚塗りの画面を引っかいて生まれた描線。紙素材を組み合わせた貼り絵(パビエ・コレ)。新しい表現を求め続けた三岸の実験精神に注目します。 ■スポット展示では、所蔵品を絵本で紹介する企画3回目。札幌在住の絵本作家、やまだなおとさんが描くちょっと不思議な物語をお届けします。	12/17[土]～2023. 3/30[木] (翌年度に継続～4/18[火])	84日	765人	9人
計				203日	5,077人	
(2) 特別展						
期	展覧会名	内容	開催期間	日数	観覧者数	
					人数計	1日当たり
	1920's-1930's 三岸好太郎が生きた時代 ■同時開催 アトリエへようこそ	1923年の画壇デビューから、わずか10年あまりの間に日本の近代洋画史を彗星のごとく駆け抜けた三岸好太郎。三岸は何を見て、何に心躍らせていたのか探るべく1920～1930年代にかけての国内外の美術潮流を見つめます。 ■バウハウスに関心を深めた三岸が、晩年夢を膨らませた新アトリエの建築。しかし三岸は旅先で急逝。妻・節子が苦勞の末に完成まで導きました。建築当時の写真と現存するアトリエ(東京・鷺宮)とを比較しながら、こだわりの外観・内観を詳しく紹介。	7/16[土]～9/25[日]	62日	2,512人	41人
計				62日	2,512人	

資料 2 - 1 令和 4 年度事業の実施状況（三岸好太郎美術館）

③観覧者数の推移

令和 5 年 1 月末日現在



項目	単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度観覧者数	(人)	135	88	536	915	739	818	695	1,025	98	247	185	522	6,003
令和3年度観覧者数	(人)	247	0	340	2,233	3,427	732	1,637	1,647	233	424	237	643	11,800
令和4年度観覧者数	(人)	282	805	840	725	1,109	861	917	1,139	342	569			7,589

資料 2 - 2 令和 5 年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

①令和 5 年度の主な取り組み

A 優れた作品の収集と適切な保管

作品の額のガラスを低反射タイプに順次交換、あるいは新規取り付け。
作品に害のないよう、あて紙を中性紙に順次交換。

B 多彩で特色ある展示活動の充実

展覧会の内容については、別途説明。

C 学習の場と情報提供の充実

「#みまのめ」展での出品作家によるトークやインタビューの実施。
学芸員によるミュージアムトークの実施。

D 活動の基礎となる調査・研究の推進

展覧会関係テーマ、他館所蔵作品、北海道の若い芸術家たちの活動について調査・研究し、展覧会に反映。

E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上

コロナ下で休止していた音楽会等イベントの再開を試行。
道美術館協力会や美術館ボランティアの活動への協力。
「アートギャラリー北海道事業」として、若手作家の表現活動を紹介。

F 安全で快適な滞在空間の提供

施設の安全性確保のための必要な措置。
館内表示の改善等来館者の利便性向上。
適切な新型コロナウイルス感染症対策の実施。

資料 2 - 2 令和 5 年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

②令和 5 年度展覧会、教育普及活動事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
休館日	1~6,10,17,19~28	1,8,15,22,29	5,12,19,26	3,6~14,18,24,31	7,14,21,28	4,11,19,25,27~30	1~6,10,16,23,30	13,20,27	4,6~15,18,25,29~31	1~3,9,15,22,29	5,13,19,26~29	4,11,18,25,29~31
展覧会	<p>所蔵品展 4月7日(金)~18日(火) 10日間</p> <p>デコポコンポジション ■スポット展示 《立てる道化》が 絵本になった!</p> <p>※R4年度より継続</p>	<p>所蔵品展 (58日間) 4月29日(土)~7月5日(水)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 道産子が行く。 北海道・札幌一北の風土に育まれた画家の感性は、独特の色彩感覚やロマンティズムをもたらしています。激動する大正~昭和初期の美術界をたくましく進取的に、そして自由奔放に歩んだ道産子・三岸好太郎の魅力に迫ります。</p>	<p>所蔵品展プレミアム (63日間) 7月15日(土)~9月26日(火)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 おばけのマールとたからもの えほん『おばけのマールとちいさなびじゅつかん』での出会いから15年。ここはすてきなお気に入り。あるときマールは、たいせつなたいせつなたからものをはこぶ旅をしたのでした。いっしょに旅するのはだれ？むかうのはどこ？ たからものはなに？ そしてそして…。 * 三岸の代表作とともにたのしく展覧会をめぐる。</p>	<p>特別展 (52日間) 10月7日(土)~12月5日(火)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 三岸好太郎再発見！ 繊細な詩情に満ちた絵画世界を切り開いた夭折の画家の画業と作品にあらためて目を向け、その知られざる側面や芸術の特質などを探ります。</p> <p>■同時開催 もっと知りたい三岸アトリエ</p>	<p>所蔵品展 (81日間 + 8日) 12月16日(土)~4月12日(金)</p> <p>三岸好太郎生誕120年・美術館新館開館40年 恋する画家の陶酔ざんまい 多くの女性への陶酔をはじめ、触れあつたさまざまなものに魅せられ、惚れ込み、恋するほどの情熱を燃やして生まれた秀作の数々をたどります。</p> <p>■併催 AGH事業 12月16日(土)~2月25日(日) 57日間 mima-no-me #みまのめ (VOL.9) 北海道ゆかりの若い美術家を紹介するシリーズ企画9回目。</p>							
連携展示	3~6月 北菓楼札幌本館における展示 ミギシ・サテライト		6~9月 ミギシ・サテライト			9~12月 ミギシ・サテライト		12~3月 ミギシ・サテライト				
普及事業・関連事業 * 実施可否今後検討						7月下旬~8月中旬 「たんけん美術館」 「マ〜ル記念日」	10月~11月 ・特別展関連事業（講演会等）	12月下旬~1月中旬 「たんけん美術館」 12~2月 AGH事業「#みまのめ」 ・アーティスト・トーク				
(音楽事業) * 夜間実施の可能性 含め開催可否検討	<p>(通年) * 所蔵品展展示解説 / 火~土午後1~3時 (祝日を除く) 解説: 北海道美術館協会の解説部ボランティア</p> <p>(随時) * 学芸員トーク / 映像機器等利用のミニ講話 (展示室内)。展示のみどころやエピソードなどを学芸員が語ります。</p> <p>(随時) * 館外講座 / 学校等の要望に応じて、学芸員が館外に向向いて講座を実施。</p>											
	* 図書コーナー / 通年 2F 三岸好太郎に関する画集・図録・文献や、美術図書等を閲覧できます。											
	□アニヴァーサリー / 7月1日は開館記念日 (観覧無料) * 4月18日は三岸好太郎誕生日 (節子命日)											
	■カルチャーナイト / 7月21日 (金)			■芸術週間 / 11月1日 (水) ~ 7日 (火)								

資料 2 - 2 令和 5 年度事業実施計画（三岸好太郎美術館）

③令和 5 年度予算計画

支出		(千円)	
項目		金額	備考
維持管理費		15,549	給与費除く
事業費	展覧会	常設展	2,786 AGH含む
		特別展	3,293
	教育普及	155	親子ふれあい含む
	調査研究	98	
	維持運営費	1,190	
その他		0	感染症対策
小計		7,522	
計		23,071	

収入		(千円)	
項目		金額	
観覧料（常設展・特別展）		2,566	
その他		1,609	
収入計		4,175	
一般財源（道費）		18,896	
計		23,071	

北海道立近代美術館リニューアル基本構想（中間報告）素案【概要版】

1 はじめに

- ▶ 北海道立近代美術館（以下「近代美術館」という。）は、昭和52年（1977年）7月にオープンして以来、本道のアート文化の振興を担い、広く道民に親しまれるとともに、北海道の中核的美術館として大きな信頼と期待が寄せられています。
- ▶ 一方、間もなく築46年となる施設は著しく老朽化が進んでおり、また、美術館を取り巻く状況が大きく変化していることから、このような現状に積極的に対応することが求められています。
- ▶ この基本構想中間報告は、有識者や道民の皆様の御意見を伺いながら、今後求められる使命や役割など、近代美術館のあり方を整理したものであり、今後、この中間報告を活用して、施設整備方法を検討してまいります。

2 検討の背景

国や世界の動向

■ 博物館法の一部改正

新しい時代の博物館は、文化拠点として国民生活に欠くことのできない施設であることを明確に位置づけ。

■ ICOM（国際博物館会議）による博物館定義の改正

博物館は、有形及び無形の遺産を研究、収集、保存、解釈、展示する、社会のための非営利の常設機関である。

博物館は一般に公開され、誰もが利用でき、包摂的であって、多様性と持続可能性を育む。

倫理的かつ専門性をもってコミュニケーションを図り、コミュニティの参加とともに博物館は活動し、教育、楽しみ、省察と知識共有のための様々な経験を提供する。

北海道教育推進計画

道内の美術館等が文化発信・交流の拠点としてネットワークでつながり、多様な鑑賞機会の拡充や教育普及活動の充実により、子どもたちの芸術に対する感性や郷土の歴史・文化に対する理解の深化、全ての道民が生涯を通じて、身近で気軽に芸術文化活動を楽しめる環境づくりに取り組む。

3 現状と課題

○：現状 ●：課題

1 作品の収集・保存

- 「北海道立美術館等作品収蔵計画」に基づき、「北海道の美術」や「エコール・ド・パリ」、「ガラス工芸」等の作品を収集
 - 近代以降の北海道美術の歴史を一望できるコレクションが成立
 - 「エコール・ド・パリ」「ガラス工芸」は、国内有数の充実度
 - 作品は常設展示のほか、館外で活用し、作品に触れる機会を創出
-
- 収蔵庫等の狭あい化
 - 設備等の老朽化に対する収蔵環境の保全
 - コレクションの充実や作品修復の促進

2 調査研究

- 学芸員による調査研究の成果を、多彩なコレクション展や大規模国際展等の企画・展示、図録等で社会に広める
 - 優れた道内作家を見だし、地域の美術文化の姿を解明
 - 道内の市町村立及び私立美術館に対し、作品等の情報提供や助言
-
- 調査研究をより深化させるための研究環境の充実
 - 自主企画展等、調査研究の成果を還元できる機会の充実
 - 研究成果や作品・作家に関する情報などの、デジタル技術を活用したアーカイブ構築と公開・発信

3 展覧会

- 「北海道の美術」「エコール・ド・パリ」等、テーマに沿った常設展示や国内外の優れた芸術を紹介する大規模な特別展示を実施
 - 美術作品の鑑賞が難しい地域の方々に向けて移動美術館を実施し、多くの道民の皆様に鑑賞していただける機会を提供
-
- 収蔵作品の活用機会の充実や移動美術館の実施方法の検討などによる鑑賞機会の確保
 - 多様なニーズへの対応
 - 作品を安定して管理できる環境の整備、展示用什器の保管場所の充実

4 教育普及事業

- 子どもから大人まで、美術館を身近な存在として親しんでもらえるよう、講演会やワークショップなどを実施
 - 作品を学校に運び、鑑賞の手ほどきを行う出張アート教室や、授業で活用できる鑑賞学習支援ツールを貸出し
 - 美術関連の図書の閲覧等ができるARSコーナーの設置
-
- ICTの活用や誰もが興味を持ちやすいイベントなど、教育普及事業の工夫
 - 講堂のバリアフリー化、映像・音響・照明設備の充実
 - 来館者が自由に活用できるエリア、子どもが学べる場所の充実

5 利用者との関係

- 近美コレクションは約60%、特別展は約70%の人が満足
 - 展覧会等の広報は、ポスター・リーフレットのほか、情報誌掲載
 - ホームページのリニューアルやSNSを活用した情報発信
-
- 常設展示室内に階段しかない、トイレが古い・狭いといった現状から、ユニバーサル・デザインへの対応
 - ボランティアが活動する場所等の充実
 - カフェやレストラン、ミュージアム・ショップ、展示室内外で休憩できる場所など、くつろぎの場所としての機能の充実

6 館運営

- 道教委の直営
 - 館長ほか職員23名（学芸系職員14名）
 - 一般財源のほか、観覧料・貸館料・施設使用料を財源
-
- 事業費の縮小
 - 団体受け入れや、気軽に訪れることができるための駐車場の充実
 - 長らく「キンピ」の愛称で親しまれてきたが、多様な時代・ジャンルの展覧会や、収蔵作品の年代の拡大を踏まえた美術館の名称の検討

4 目指す姿

ビジョン

私たちが目指すもの

北海道立近代美術館は、アートの普遍的価値の継承・発展と、発信に取り組むことにより、誰もがその豊かさを享受することで、多様な人々が互いを受け入れ、活かし合う、創造性と活力にあふれる社会の実現を目指します。

ミッション

私たちの使命、役割

- 北海道の美術文化の中核として、道民に信頼され、親しまれるとともに、誰もが楽しみ、学び、やすらぎを感じ、人生の豊かさを見いだすことができる場所となります。
- アートを介した新たな発見や感動体験により、人々の生涯を通じて創造力と豊かな感性を育み、刺激し続けます。
- 様々な人々や団体と協働し、地域のアートの活性化に貢献するとともに、多様性の尊重や持続可能性が求められるこれからの社会づくりに向け、美術館としての活動を積み重ねながら、道民とともに歩んでいきます。

ハーモニー

くつろぎの空間としての魅力を向上させるとともに、多彩な展示を通して、個性の異なる誰もがアートに親しむことができるよう、「ユニバーサル・デザイン」の考え方を、ソフト・ハードの両面に取り入れます。また、都心の緑の中にある美術館として、環境に最大限配慮した活動を行いながら、人とアートをつなぎ、文化と自然の調和のシンボルとなります。

コレクション

コレクションは美術館活動の原点であり、すべての人々に向けて開かれた文化と教育の資源です。収集方針に基づきながら、貴重な作品を系統的に収集し、展示やラーニング・プログラムなどに幅広く活用します。また、デジタル・データ化を進めながら、適切な取扱いと環境のもとで大切に守り、次世代へと引き継ぎます。

コンセプト

私たちが取り組んでいくこと

リサーチ

多岐にわたるリサーチ（調査研究）活動では、各分野における専門性を深めつつ、分野を横断し、総合することによって、アートの価値をさらに引き出し、美術館活動に幅広く活かします。また、誰もが北海道の美術について深く、多角的に学ぶことができるよう、資料のアーカイブ化などに取り組みます。

コラボレーション

アーティスト、ボランティア、学校、企業など様々な人々や団体と持続的な協働体制を構築し、多彩な展覧会を開催するほか、個人の成長・年齢や個性に応じた楽しみと学びの機会の創出を進め、地域の美術文化、美術教育を活性化します。

ウィズ・キッズ

子どもが自ら楽しみ、大人の手を引き何度も訪れたいくなる美術館となるような展示、ラーニング・プログラム、ワークショップを企画・実施し、生涯にわたるアートとの関わりの礎を築きます。

5 施設整備の基本的な考え方

() 内は整備の例

1 老朽化している施設・設備の更新

- ・外壁や屋根、電気・空調設備等の更新
- ・点検、メンテナンスや更新が容易な施設設備
- ・防犯・防災、自然災害への対応

2 収蔵庫や什器、資料の保管場所などの狭あい化の解消

- ・コレクションの充実を見込んだ保存スペース
- ・展示ケース等什器類の保管場所
- ・調査研究や道民に開放するための資料の保管場所

3 時代の進展にあわせたデジタル技術の活用

- ・デジタル技術を活用した鑑賞方法の確立
- ・アーカイブ化対応やデータベースの充実
- ・道内美術館等の活動情報に関する特設ページ

4 誰もが気軽に利用でき、学ぶことができる開かれた場所

- ・施設設備、表示等のUD化
- ・休館中でも鑑賞可能な常設展示スペース
- ・多機能ルールの設置
- ・道民の活動スペースの設置

5 多くの人々が訪れる、居心地がよく、アクセスしやすい空間

- ・カフェやレストラン、ミュージアム・ショップなど、美術作品を鑑賞した余韻を楽しむことができる空間の構築
- ・駐車スペースの確保

6 都心の貴重な緑を活かした環境整備

- ・緑と調和し、持続可能性に配慮した施設設備
- ・自然との連続性を感じられる内装や、親子で楽しめるスペース

6 今後の進め方

基本構想の策定に向けて

- 著しく老朽化している現状や課題への対応、ミッション等の実現に向け、近代美術館の整備方法は「既存施設の改修」「現敷地での新築」「知事公邸等が所在する区域への移転新築」が考えられる。
- どの方法も、利点や課題があり、美術館活動への影響や経済性、環境性などが異なることから、「施設整備の基本的な考え方」を踏まえ、それぞれのメリット・デメリットを整理・比較する必要。
- 整備方法の選択に当たっては、合理性・客観性を確保できる評価方法を検討するとともに、比較内容について、道民の皆様から御意見を伺いながら丁寧に検討を進め、基本構想を策定。

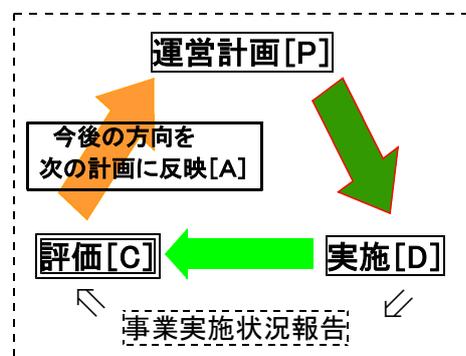
基本構想策定後

- 選択した整備方法に基づき、機能や役割を具体化し、施設整備や運営方法に関する基本計画を策定するとともに、PPP/PFI手法導入を検討。
- 運営方法は、美術館活動には高い専門性と信頼性が求められることに留意し検討。
- 施設の維持管理や美術館事業の充実に向け、ファンドレイジングや企業等との協働による事業手法などを検討。
- スタッフの配置・育成について、ミッション等の実現や来館者のニーズへの対応のため、専門性を備えた人材の配置に向け、美術館活動の具体化にあわせて検討。

美術館評価システムの改善について

1 基本的な考え方

ポイント	考え方
見直しの趣旨	実績評価型評価から目標管理型評価へ
運営改善のための評価	美術館運営のPDCAサイクルに評価を位置づけ、成果・課題を分析し、今後の方向性を確認
運営計画、実施状況報告と連関する評価	美術館管理規則に定める運営計画及び事業実施状況報告とつながる評価



2 評価のポイント

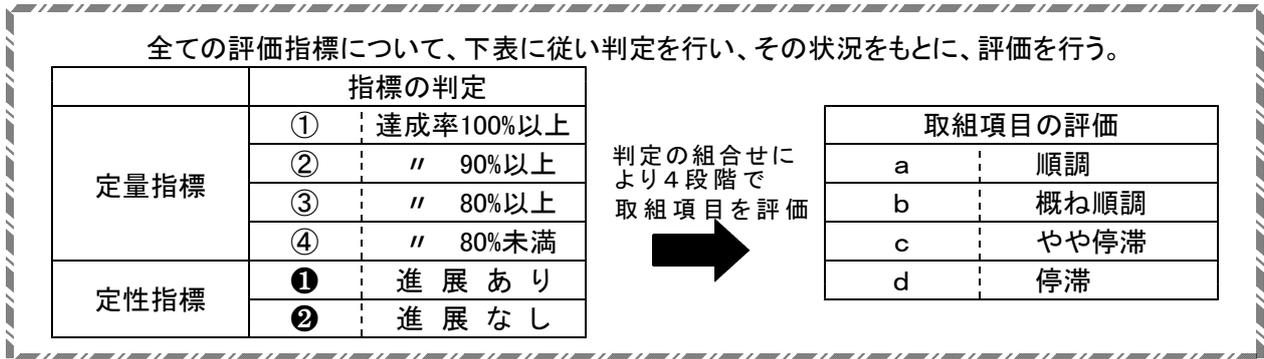
項目	内容
評価の対象 【現行どおり】	○「基本的運営方針」と「取組項目」を対象に評価 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的運営方針: 美術館の基本的役割(6方針) ・取組項目: 運営方針に基づく具体的な取組(16項目→13項目)
評価指標 【見直し】	○各取組項目に定量又は定性の指標を設定 ○事業廃止等により一部の指標を削除するとともに、博物館法改正等を踏まえ、新たな指標を設定するなど整理(42指標→37指標 定量17、定性20)
評価判定 【見直し】	○全ての評価指標を判定 <ul style="list-style-type: none"> ・定量指標: 4段階(①達成率100%超・②90%~・③80%~・④80%未満) ・定性指標: 2段階(①進展あり・②進展なし) ○別紙評価基準により、取組項目及び基本的運営方針を評価 <ul style="list-style-type: none"> ・取組項目: 評価指標の判定の組合せにより、abcdの4段階評価 ・基本的運営方針: 取組項目の評価を点数化し、ABCDの4段階評価
計画と実績の明示 【新規】	○どのような計画や目標(P)を立て、事業や活動に <u>取り組んだ(D)</u> かを明示 ○定量指標については、計画策定の段階で、目標値とその設定理由を明示
成果・課題等の明示 【新規】	○計画と実績の対比や評価指標の状況などをもとに、 <u>成果・課題を分析(C)</u> ○成果・課題を踏まえ、今後の <u>対応方向を明らかにし、次年度の計画に反映(A)</u>

3 評価調書

別紙のとおり

色塗り部分については、運営計画及び実施状況報告と連動させ、評価に伴う事務作業を合理化

評 価 基 準



1 取組項目の評価

(1) 定量指標のみの取組項目

指標の状況	評 価
全て達成率100%以上	a
全て達成率90%以上かつ80%未満なし	b
全て達成率80%以上	c
達成率80%未満あり	d

(2) 定性指標のみの取組項目

指標の状況	評 価
全て「進展あり」	b
「進展あり」過半数	c
「進展なし」半数以上	d

(3) 定量指標、定性指標が混在する取組項目

		【定量指標】			
		全て100%以上	全て90%以上	全て80%以上	80%未満あり
【定性指標】	全て「進展あり」	a	b	b	c
	「進展あり」過半数	b	b	c	c
	「進展なし」半数以上	b	c	c	d

2 基本的運営方針の評価

取組項目の評価を点数化し、その平均値により基本的運営方針の評価を行う。

取組項目の評価	評点	評点の平均値	基本的運営方針の評価
a	4	3.5超	A 順調
b	3	2.5~3.5	B 概ね順調
c	2	1.5~2.5	C やや停滞
d	1	1.5未満	D 停滞

基本的運営方針・取組項目・評価指標

[現 行]			
基本的運営方針	評価項目	評価方法	評価指標（赤字：現行限り）
A 優れた作品の収集と保管	コレクションの活用状況	定量	①コレクションの稼働率
		定性	②所蔵作品を他の美術館企画展で活用
	コレクションの充実度	定性	③収集方針に基づき、主体性を持ち積極的に収集活動を行う
	保管状況の適切さ	定性	④適正な保管環境を保持し、必要な調査に基づき措置を行う 計画的に所蔵作品の修復を行う
B 多彩で特色ある展示活動の充実	常設展示の充実度	定量	⑤常設展示観覧者数
		定量	⑥常設展示観覧者の満足度
		定量	⑦常設展示のリポート率
	特別展示の充実度	定量	⑧特別展示の観覧者数
		定量	⑨特別展示観覧者の満足度
		定量	⑩特別展示のリポート率
	入館者の拡充	定性	⑪美術館の魅力を広め入館者増につながる取組の実施
	展示の状況	定性	⑫展示のねらいが効果的に表現できているか
	館外展示の充実度	定量	⑬移動美術館入場者満足度
		定性	⑭その他の館外展示の状況
C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供	教育普及事業の充実度	定量	⑮教育普及プログラムの実施数
		定量	⑯教育普及プログラムの参加者数
		定量	⑰教育普及プログラムの満足度
		定性	⑱教育普及事業の状況
	美術情報提供の充実度	定量	⑲ARS、図書コーナーの利用者件数
		定量	⑳ARS、図書コーナーの利用者満足度
		定性	㉑多くの来館者が利用できる図書コーナーの環境整備・保持
		定量	㉒HPアクセス件数
		定量	㉓メールマガジン等発行回数
		定量	㉔ソーシャルメディアの投稿数
定性	㉕情報発信の状況		
D 活動の基礎となる調査・研究の推進	調査・研究の充実度	定性	㉖学芸員による調査報告
		定性	㉗二次資料の状況
E 地域文化の振興	地域の関係機関との連携状況	定量	㉘ボランティア団体等の主体的な事業の参加者数
		定性	㉙ボランティアが活動しやすい場の提供
		定性	㉚地域と連携した取組の状況
	学校との連携の状況	定量	㉛キャンパスパートナーシップのメンバー校数
		定量	㉜出張アート教室の延べ参加者数
		定量	㉝指導者研修の延べ参加者数
		定量	㉞学校教育活動への対応数
		定性	㉟参加者・利用者満足度
F 良好な滞在環境の提供	附帯施設の充実度	定量	㉟レストラン・喫茶利用者の満足度
		定量	㊱ミュージアムショップ利用者満足度
		定性	㊲事業者と協力してのサービス向上の実践
	館のホスピタリティ	定量	㊳館内スタッフの対応に関する利用者の満足度
		定性	㊴ホスピタリティ向上に向けた取組み
	施設環境の保持	定量	㊵施設内外の環境への満足度
定性		㊶施設安全性保持のための必要な措置	
6方針	16項目		42指標（定量25、定性17）

[改 正 案]					
基本的運営方針	取組項目（評価項目）	評価方法	評価指標（赤字：新規）	現行指標との対応	アンケート把握
A 優れた作品の収集と適切な保管	優れたコレクションの形成	定性	1 収集方針に基づく収集活動	③	
		定量	2 所蔵品データベースの整備率	【新規】	
	所蔵作品の適切な保管	定性	3 適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復	④	
		定性	4 コレクションの効果的な活用	①、②	
B 多彩で特色ある展示活動の充実	多様なニーズに応える展示会の開催	定量	5 展示会の観覧者数	⑤、⑧	
		定量	6 観覧者の満足度	⑥、⑨	○
	観覧者拡充のための工夫	定量	7 観覧者に占めるリピーターの割合	⑦、⑩	
		定量	8 観覧者に占める児童生徒の割合	【新規】	
		定性	9 展示の企画構成やPR等の工夫	⑪、⑫	
	館外における鑑賞機会の提供	定性	10 館外における展示活動の状況	⑭	
C 学習の場と情報提供の充実	教育普及活動の充実	定量	11 教育普及プログラムの実施件数	⑮	
		定量	12 教育普及プログラムの参加者数	⑯	
		定性	13 教育普及プログラムの企画・実施状況	⑰	
	情報提供の充実	定量	14 ARS、図書コーナーの利用件数	⑰	
		定性	15 利用しやすい図書・資料コーナーの整備	㉑	
		定量	16 HPアクセス件数	㉒	
		定量	17 SNSの投稿数	㉔	
		定量	18 リモートミュージアムの公開件数	【新規】	
		定性	19 情報発信の工夫改善	㉕	
D 活動の基礎となる調査・研究の推進	調査・研究の推進	定性	20 学芸員による調査・研究の報告や発表の状況	㉖、㉗	
		定性	21 学芸員の研修等の状況	【新規】	
E 多様な主体との連携・協力による地域の活力向上	多様な機関との連携・協力	定性	22 地域の団体やイベント等と連携した取組の状況	⑳	
		定性	23 企業や団体等と連携したPR活動	【新規】	
		定性	24 道内美術館等との連携・協力の状況	【新規】	
		定性	25 ボランティアとの連携・協力の状況	㉘、㉙	
		定性	26 学校教育と連携した取組の状況	㉚	
	学校等の教育機関との連携・支援	定量	27 児童生徒向け鑑賞教室（オンラインを含む）の実施件数	㉞	
		定量	28 キャンパスパートナーシップのメンバー校数	㉛	
		定性	29 教員を対象とした研修の実施状況	㉝	
F 安全で快適な滞在環境の提供	施設の適切な維持管理	定性	30 施設の安全性確保のための必要な措置の状況	㉟	
		定性	31 誰もが安心して利用できる施設整備の状況	㊱	
	施設の快適性の向上	定量	32 鑑賞環境に対する満足度	【新規】	○
		定量	33 レストラン・喫茶に対する満足度	㉟	○
		定量	34 ミュージアムショップに対する満足度	㊱	○
		定性	35 ボランティアや事業者と協力してのサービス向上に向けた取組の状況	㊲	
		定量	36 館内スタッフの対応に対する利用者満足度	㊳	○
		定性	37 ホスピタリティ向上に向けた取組の状況	㊴	
6方針	13項目		37指標（定量17、定性20）		

A 優れた作品の収集と適切な保管

【基本的運営方針】

【事業実施計画・事業実施状況】

取組項目	事業実施計画 [PLAN]	事業実施状況 [DO]
優れたコレクションの形成		
所蔵作品の適切な保管		
コレクションの効果的な活用		

【評価】

取組項目	評価指標	前年度実績	目標値 (a) 設定の考え方	実績値 (b)	達成率 (b/a)	指標の判定	評価 [CHECK]		今後の対応方向 [ACTION]	
							項目評価			総合評価
							成果・課題			
優れたコレクションの形成	収集方針に基づく収集活動 [定性]	-	-	-	-					
所蔵作品の適切な保管	所蔵品データベースの整備率									
	適切な保管環境の維持と所蔵作品の計画的な修復 [定性]	-	-	-	-					
コレクションの効果的な活用	コレクションの活用の状況 [定性]	-	-	-	-					



【取組項目の評価基準】

1 定量指標のみの取組項目

指標の状況	評価
全て達成率100%以上	a
全て達成率90%以上かつ80%未満なし	b
全て達成率80%以上	c
達成率80%未満あり	d

2 定性指標のみの取組項目

指標の状況	評価
全て「進展あり」	b
「進展あり」過半数	c
「進展なし」半数以上	d

3 定量指標と定性指標が混在する取組項目

		【定量指標】			
		全て100%以上	全て90%以上	全て80%以上	80%未満あり
【定性指標】	全て「進展あり」	a	b	b	c
	「進展あり」過半数	b	b	c	c
	「進展なし」半数以上	b	c	c	d